

社協 なると

社会福祉協議会広報誌 第14号

発行／社会福祉法人 鳴門市社会福祉協議会
〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜 24 番地 2 鳴門健康福祉交流センター2F
TEL : 088-685-7170 FAX:088-686-4059 HP : <http://www.narutoshi-shakyo.com>



災害時における協力体制に関する協定を締結



第40回鳴門市うずしお運動会



赤い羽根共同募金・街頭募金



鳴門市シルバー大学校の
「音楽でうきうき体操でいきいき！」

もくじ

- 鳴門市総合防災フェア・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 災害時における協力体制に関する協定を締結・・・・・・・・ 2
- 第5回鳴門市シルバー大学校開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 鳴門市うずしお運動会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 認知症の方への理解を深める普及啓発活動・・・・・・・・ 3
- 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金について・・・・ 4



鳴門市総合防災フェアに参加しました



9月1日(日) 鳴門ウチノ海総合公園において鳴門市総合防災フェアが実施されました。市社協は「災害ボランティアセンター運営模擬訓練」を行いました。鳴門市婦人防火クラブ連合会の代表の方々に災害ボランティア役をしていただき、受付〜マッチング〜送り出し〜活動〜報告という一連の流れを模擬的に紹介させていただきました。

また、展示ブースでは「家族で防災会議」と題し、FCP(家族継続計画)についての広報チラシの配布と、災害ボランティアセンターの活動パネル展示を行いました。

初めての参加のため不慣れなところもありましたが、今後も市社協では、災害の発生に備え、より良い災害ボランティアセンター運営について検討していきたいと考えています。

鳴門板野青年会議所と『災害時における協力体制に関する協定』を締結しました

市社協は、鳴門板野青年会議所と、9月22日(日)に鳴門市健康福祉交流センターにおいて、『災害時における協力体制に関する協定書』調

印式を行いました。

この協定は、甚大な被害が発生した災害に対し、市社協・鳴門板野青年会議所の両者が相互に連携・協力し、効率的かつ効果的に災害ボランティア活動などの被災者支援活動を行うことを目的としています。今後は、発災時におけるスタッフの派遣や災害ボランティアセンターの運営、資機材の確保、また平常時には訓練・会議などで協力していきます。

鳴門市うずしお運動会開催

10月16日(水)「のぼさう 健康寿命、担おうー地域づくりを」をスローガンに、令和元年度第40回鳴門市うずしお運動会が開催され、市内の各地域から60歳以上の方が、約800名参加されました。

今年度は当日準備だった為1時間遅れの開始となりましたが、役員の皆様が手際よく準備を行い定刻通り開会式を始める事ができました。

市老連藤村会長の開会の挨拶に続き、泉鳴門市長、大石 市議会議長(代理) 山根 副議長(黒崎県議(県議団代表))からご挨拶を頂きました。

昨年度、優勝の天津チームから優勝カップの返還・選手宣誓が行われた後、競技が開始されました。



紅白玉入れや、ホールインワン競争、二人は若い、交通安全など9種目の競技が行われました。また、お昼に行われたレクリエーション(踊り)では、花柳先生のご指導のもと、たくさんの方に参加いただきました。「遊山箱」の踊りでは、遊山箱を手に持ちしなやかに、かわいらしい踊りが披露され、和やかな雰囲気になりました。最後まで白熱した競技が展開され、盛況のうちに終了しました。

なお、成績の上位3チームは、次の通りです。
優勝 川東チーム
準優勝 北灘チーム
三位 天津チーム

第5回鳴門市シルバー大学校



10月1日(火)鳴門市健康福祉交流センターにおいて第5回鳴門市シルバー大学校が開催されました。

講義内容は、株式会社第一興商による「音楽でうきうき 体操でいきいき!」と題して、カラオケを歌うと

「口腔機能の向上」「ストレスの改善」「認知症予防」が期待できる事について学びました。

懐メロを歌いながら、手や足、体を無理なく楽しく動かし、参加者は心も体もリフレッシュした様子で素敵な時間を過ごす事ができました。

認知症の方への理解を深める 普及啓発活動

その①認知症サポーター養成講座を開催

10月4日、瀬戸公民館で認知症サポーター養成講座を開催しました。老若男女16名の方にお越しいただき、認知症とはどんな病気なのか、病気が進行すると当事者がどのような状況に陥るのか。また認知症サポーターとして地域でどのような活動をしていけばよいかといったこと等について90分講義を行いました。認知症になってもご本人やご家族が安心して暮らし続けられる町『なると』を目指し、活動を推進していきます。



その②認知症啓発に関する川柳について

9月1日から9月19日の間、市民の方に認知症啓発に関する川柳を募集したところ、111点の応募がありました。この募集は、川柳を通して一人でも多くの方が認知症のことについて考える機会になればと、毎年、鳴門市認知症地域支援推進員が企画させて頂いています。今年度もたくさんの方の素晴らしい川柳を多くお寄せ頂きあ



りがとうございました。

なお、応募頂いた作品の中から鳴門市認知症地域支援推進員が優秀作品として、次の3点を選定しました。優秀作品については、今後の普及啓発に活用させて頂きます。

- ・どこいっきょん 地域で声かけ 見守って
(撫養町 中川 百合子様)
- ・やさしさと 気付きで守る 認知症
(撫養町 直江 貢様)
- ・一人じゃない 予防と理解が あるなると
(撫養町 中村 真奈美様)

その③認知症への理解を深めるための街頭啓発

10月20日、第18回鳴門のまつりで、認知症への理解を深めるための街頭啓発を行いました。当日は、鳴門市認知症地域支援推進員等10名が、認知症等により高齢者が行方不明になった場合に、地域の協力を得て早期発見できるように、行方不明者の安全と家族等への支援を図ることを目的とした、「鳴門市認知症高齢者等SOSネットワーク」のパンフ



地域で認知症のご本人やご家族を支える

認知症サポーター養成講座を受講しましょう

認知症の方が住み慣れた町で暮らして行くためには、地域の方々の認知症への理解や支援は必要不可欠です。鳴門市では、地域で暮らす認知症の人を支える『認知症サポーター』の養成に取り組んでいます。認知症サポーターになるためには養成講座を受講する必要があります。

小人数での開催も可能ですのでお気軽にご連絡ください。



認知症になっても
安心して暮らせる町
「なると」へ

申し込み・問い合わせ先

鳴門市
基幹型地域包括支援センター
☎088-615-1417

レット等の配布を行いました。また、子どもたちには認知症サポーターキャラバン(認知症を知り地域をつくるキャンペーン)のマスコットであるロバ隊長のバルーンアートを配りました。これからも、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組んでいきます。



赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 に皆様のご協力をお願いいたします

共同募金運動は昭和 22 年に始まって以来、今回で 73 回目を迎えております。皆様の温かいご支援・ご協力により、今年も 10 月 1 日から「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマに掲げて運動を展開しておりますので、皆様方のお一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいた寄付金は、徳島県共同募金会を通じて、徳島県内の民間福祉施設や社会福祉協議会に配分され、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障がいのある人や子供たちが安心して生活できるように、地域の様々な福祉活動に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、地域の皆様の共同募金への温かいご支援とご協力をお願いいたします。

共同募金は計画募金

共同募金は、運動の前に県内の社会福祉施設や社会福祉・ボランティア団体等からの助成要望を取りまとめ、使いみちの計画（配分計画）を立ててから募金を行う「計画募金」です。この配分計画をもとにした募金目標に向けて運動が行われます。

鳴門市支部の募金運動計画

- ◇ 地域募金・・・ボランティアの皆さんが、町内会を通じて各世帯に呼びかけます。
- ◇ 街頭募金・・・街角や人の集まる場所（店舗前など）で募金を呼びかけます。
- ◇ バッジ募金・・・関係団体や官公庁、福祉施設等の職員に呼びかけます。
- ◇ 法人募金・・・ボランティアの皆さんが、企業を訪問して寄付を依頼します。
- ◇ 歳末たすけあい募金・・・関係団体を中心に呼びかけます。

※歳末たすけあい運動は共同募金運動の一環で、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を展開するものです。

街頭募金のご報告

10/1、10/2 にキョーエイ鳴門駅前店様、マルナカパワーシティ鳴門店様、ハローズ鳴門店様のご協力により、店頭で街頭募金運動を実施させていただきました。2 日間の合計は、66,044 円でした。ご協力いただいた多くの皆様方にお礼申し上げます。期間中、鳴門市支部委員をはじめ、鳴門市議会議員の皆様、第一中学校様、第二中学校様、鳴門中学校様など、多くのボランティアの方々にご協力いただきました。

キョーエイ鳴門駅前店様

17,095 円

(2 日に実施)

マルナカパワーシティ鳴門店様

33,936 円

(1 日、2 日に実施)

ハローズ鳴門店様

15,013 円

(1 日に実施)

善意銀行にご協力をお願いします

皆さまの温かい善意が、福祉のまちづくりに活かされています。

善意銀行とは、市民の皆様の“善意の金銭や物品”を預託（寄付）していただき、それらが必要とする方や施設・団体などに払出し（活用）させていただき、みんなが幸せになれる福祉のまちづくりを推進するための銀行です。地域の団体のおまつりやバザーでの収益金の一部、冠婚葬祭でのお祝いやお悔やみの一部と様々な形でご寄付いただいております。事前にボランティアセンターにご相談ください。

今後も皆さまの善意を地域福祉の推進に活かしていくため、ご協力をお願いいたします。